

科 目 名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
経営情報工学特別研究: Special Research		1,2K	14	2100分	必修	研究・通年	
教 員 名		特別研究指導教員					
授 業 概 要	技術者として、幅広い工学の知識と技術を駆使し、必ずしも正解のない問題に取り組み、実現可能な解を見出すことができる能力が要求される。特別研究では、担当教員から与えられた研究テーマを通し、創造性や課題探求・解決能力を養うことを目的とする。学生は1年生の初めに提示された研究テーマの中から選び、そのテーマの指導教員のもとで2年間継続して研究を行う。研究テーマに対し、研究計画を立て、指導教員と相談しながら研究を進める。最後に特別研究論文としてまとめ、特別研究発表会で発表する。研究成果は、学外の学協会などで講演発表を行う。						
到達目標				評価方法			
(1) テーマの背景について調査し、研究計画を立て実行できる。 (2) 得られたデータについて理解し、解析、考察ができる。 (3) 研究内容について概要をまとめ、プレゼンテーションできる。 (4) 研究内容を論文としてまとめることができる。				(1) 文献調査及び研究計画の報告により評価する(主査)(20%)。 (2) 特別研究論文により評価する(主査)(40%) (3) 特別研究発表会及びその要旨集により評価する(主査・副査)(20%) (4) 特別研究論文により評価する(主査・副査)(20%)			
学習・教育目標		(D)①②③		JABEE基準1(2)		(d)-(3),(e),(h)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
			指導教員の指示により研究を進める。 1年生の3月に中間発表を、2年生の2月に特別研究発表を行う。		研究室名	テーマ名	
					伊藤研究室	1. 企業経営の成功と失敗に関する研究 2. 系列企業の構造分析 3. ドメインコンセンサスの測定	
					内田研究室	中小企業のためのクラウド・システムの開発	
					武藤研究室	集団知としてのソーシャルブックマークに基づくWebページの信頼性の推定	
					松野研究室	企業間関係における情報共有のモデル分析とその応用	
					岸川研究室	公的統計を援用した地域社会システム分析	
					田川研究室	1. 組織間管理会計 2. 監査意見に関するネットワーク分析 3. テキストマイニングによる有価証券報告書の分析	
					荒川研究室	1. 人工知能 2. 統計的データ解析 3. パズルプログラミング	
					狭間研究室	1.生産ラインにおける性能評価を用いた最適性 2.SCMおよびGSCMにおける情報共有の差異分析 3.OR手法を用いた社会現象における最適性	
				中岡研究室	1. 感性工学を用いた情報システムの構築に関する研究 2. ソフトコンピューティングに関する研究		
自学自習の内容							
関連科目	全ての科目						
教科書							
参考書							
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員							
備考	国際学会での発表、レフリーのつく学会論文集への掲載については、学生表彰の対象にしている。						